

人類絶滅への警告

地層は活動の痕跡を刻む

本連載のタイトル「人新世を耕す」は日本種苗新聞が付けて下さったものである。「人新世」という用語を提唱したのは1995年にオゾン層破壊の研究でノーベル賞を受賞したオランダのパウル・クルツェンとアメリカの生態学者のユージン・ストーマーである。

中で「われわれが生きている時代はもう完新世ではない、人新世だ」と叫んだ。これに先立ちスト

で議論が続けられているが、まだ結論には至っていない。

生態系や気候に影響

この用語を地質学において定義するためには、いつをもって「人新世」の始まりとするかを取り決める必要がある。そのため国際層序委員会の第四紀層序小委員会のなか

「人新世」を「人間活動が地球の生態系や気候に重大な影響を及ぼしている時代」とするならば、さまざまなる出来事を「人新世」の始まりの時期として考えることができる。

農耕の開始は第四紀最新世最終期の「ヤンガードリアス期」にメソポタミアで起こっており、「完新世」は「ヤンガードリアス期」が終了した1万1700年前から始まっているので、「完新世」という用語を「人新世」によって置き換えなくてはならなくなる。

クルツェンは、メキシコで2000年に開かれた地球環境の変化に関

したため国際層序委員会の第四紀層序小委員会のなか

例えば人類による大型哺乳類の絶滅を例にとる

他にもコロナスによ

地球の歴史を一年に例えると

46 億年前	地球誕生		1 年前
40-38 億年前	生命誕生		317~302 日前
5.7 億 ~	古生代	生物の多様化	45.2 日前
4.2 億		植物の上陸	33.3 日前
2.5 億 ~	中生代	恐竜の出現	19.8 日前
6500 万年前	新生代	恐竜の絶滅と哺乳類の時代	5.2 日前
700 万年前		ヒト・チンパンジー分岐。	13.3 時間前
258 万年前	第四紀	エレクトス原人	4.9 時間前
20 万年前		ホモ・サピエンス生まれる	22.9 分前
10~7 万年前		ホモ・サピエンスの出アフリカ	11.4-8.0 分前
13000-11700 年前		ヤンガードリアス期・農耕開始	1.5 分前
11700 年前	完新世	氷河の後退と温暖化開始	1.3 分前
西暦 0 年			13.9 秒前
1492AD		コロンブス・カリブ諸島到着	3.6 秒前
1760-1830AD		ヨーロッパ産業革命	1.8 秒前
1950AD~		人新世の微候顕著	0.5 秒前

る新大陸の「発見」と不
 平等交換の開始、産業革
 命、産業化学物質の残存、
 常気象の頻発、世界人口
 大、オゾン層の破壊、異
 なる大気象の頻発、世界人口
 がある。

温室効果ガス濃度の増
 源の偏在、核兵器の使用
 は、「人新世」という言葉
 の急激な増大、食料と資
 源の偏在、核兵器の使用
 は、人類の輝かしい未来

と核実験の開始
 などを挙げるこ
 とができる。

廃棄プラスチック
 ックや放射性廃
 棄物・残存核種
 は明らかに現代
 の地層の中に痕
 跡を留めてい
 る。

2019年の
 終盤に発生し、
 今なお続いてい
 るコロナパンデ
 ミックも「人新
 世」を象徴して
 いる。コロナパ
 ンデミックは自
 然現象ではな
 く、人の行動が

というイメージではなく
 人類の絶滅さえ予想させ
 る悲観的な概念として用
 いられる傾向が多い。
 ウクライナへの侵略に
 際して、ロシアのプーチ

小林

交配

小林種苗株式会社

兵庫県加古川市粟津四〇四

ン大統領は核兵器の使用
 を示唆して世界の反対勢
 力を牽制している。

アメリカ合衆国におけ
 る2020年の大統領選

拳の最中にトランプ前大統領も核兵器の使用を示唆した。本来なら核兵器禁止や非戦を主張すべき日本においても、保守政治家たちは核兵器の配備や軍備拡張を主張している。

他の知的生物が確認

核戦争が始まれば人類の絶滅は間近であろう。「人新世」を議論する必要もなくなる。人間活動の痕跡を刻んだ地層は何千万年か後に、他の知的生物によって確認されることであろう。

最終氷期が終わり急激な温暖化が進んだ最近の約1万1700年を「完新世」としている。地球の歴史を一年に例えるなら、12月31日の最後の1分20秒に相当する。

3万年前、旧人と共存

ホモ・サピエンスは約20万年前にアフリカで生まれ、約10万年前にユーラシア大陸に出たときれている。3万年前頃までホモ・サピエンスは、ホモ・エレクトスなどの原人やネアンデルタール人・デニソワ人などの旧人と共存していた。

ネアンデルタール人は脳の容積や体力などの面でホモ・サピエンスに劣らぬ形質を獲得していたことが分かっている。ホモ・サピエンスよりもはるかに長い期間、さまざまな環境変動にも耐えて生き続けてきた原人や旧人は、何故絶滅してしま

ったのだろうか？

優れた協同の能力

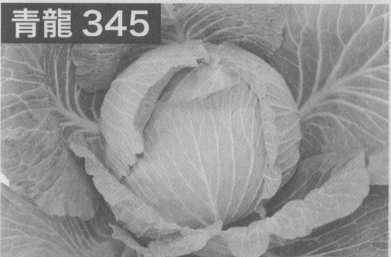
ホモ・サピエンスとの競合が他のホモ属(人属)の絶滅を早めてしまった可能性が大きい。その理由としてホモ・サピエンスは個々の能力よりもコミュニケーションによる協同の能力に優れているため、という推察がある。協同することにより狩猟や他の種族との闘争を有利に進めることができたためである。

協調性・同調性は人類の優れた特性のひとつではあるが、その能力を戦争や環境破壊ではなく、人類の平和と存続に向けてなくてはならない。

(終わり)

タナカのタネ

青龍 345



九州特産種子 生産知